

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【公表番号】特表2017-513920(P2017-513920A)

【公表日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-570926(P2016-570926)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/18 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 L 2/18 (2006.01)

A 6 1 K 31/79 (2006.01)

A 6 1 K 31/14 (2006.01)

A 6 1 K 33/38 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 31/02 (2006.01)

A 6 1 L 101/02 (2006.01)

A 6 1 L 101/06 (2006.01)

A 6 1 L 101/32 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 33/18

A 6 1 M 25/00

A 6 1 L 2/18

A 6 1 K 31/79

A 6 1 K 31/14

A 6 1 K 33/38

A 6 1 K 9/08

A 6 1 P 31/02

A 6 1 L 101:02

A 6 1 L 101:06

A 6 1 L 101:32

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年2月1日 (2018.2.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

尿道留置カテーテルを使用した結果発生するカテーテル関連尿路感染症 (C A U T I)
の低減に用いられる水性洗浄組成物であって、
前記尿道留置カテーテルの当該使用において、尿道カテーテルが、哺乳動物の尿道内に
挿入されることにより尿道挿入部位を規定し、当該部位が、尿道留置カテーテルを有し、
前記尿道留置カテーテルが、カテーテル挿入部位とカテーテル露出部分により特徴付け
られ、前記尿道挿入部位が、バリア機能を有した酸性の角質層組織により規定され、尿道
口周囲の会陰及び当該会陰と尿道口の間の周辺粘膜を含み、
前記カテーテルの挿入前に、前記カテーテル尿道挿入部位の周囲の会陰、尿道口、周辺

粘膜および前記カテーテル本体を清拭するステップと、前記カテーテルの挿入後に、前記会陰、尿道口、周辺粘膜および前記カテーテル露出部分を3～12時間ごとに清拭するステップと、前記カテーテルの抜去直前に、前記カテーテル露出部分、会陰、尿道口および周辺粘膜を清拭するステップに使用され、前記清拭ステップでは、前記皮膚を一度に殺菌し、菌叢のバランスを維持し、真皮の深い層に浸透し、皮膚の酸性pHを維持し、カテーテル関連尿路感染症（CAUTI）の発生を低減し、

前記水性洗浄組成物が、

（a）少なくとも1種の両性界面活性剤と、

（b）アロエベラ、アラントイン、コカミドプロピルベタインおよびこれらの混合物からなる群より選択される少なくとも1種の抗炎症剤と、

（c）少なくとも1種の皮膚適合性の消泡剤と、

（d）アロエベラ、アラントイン、グルカン、バイオフィラボノイド、ポリフェノール化合物、グレープフルーツ由来の第四級化合物およびこれらの混合物から選択される少なくとも1種の細胞増殖促進剤と、

（e）コロイド銀、ピクノジェノール、ブドウ種子エキス、グレープフルーツ由来の第四級化合物およびこれらの混合物からなる群より選択される少なくとも1種の速効性の皮膚適合性の抗菌剤と、

（f）以下の成分：

（i）アロエベラ、グルカン、コロイド銀、アラントインおよびこれらの混合物からなる群より選択される免疫系強化剤、

（ii）グルカン、アロエベラ、コロイド銀およびこれらの混合物からなる群より選択される少なくとも1種の吸収促進剤、

（iii）アロエベラ、ビタミンE、コカミドプロピルベタインおよびこれらの混合物からなる群より選択される少なくとも1種の湿潤剤ならびに軟化剤、

（iv）バイオフィラボノイド、ポリフェノール化合物、グレープフルーツ由来の第四級化合物、グルカン、アラントイン、ビタミンE、ピクノジェノール、ブドウ種子エキスおよびこれらの混合物から選択される少なくとも1種のフリーラジカル補足剤、ならびに

（v）アロエベラ、アラントイン、グルカンおよびこれらの混合物から選択される少なくとも1種の治癒促進剤、

からなる群より選択される少なくとも1種の異なる成分とを含み、

前記皮膚の酸外套を維持し、感染性の微生物を除菌し、皮膚のバリア特性を維持する、水性洗浄組成物。

【請求項2】

尿道留置カテーテルの使用の結果発生するカテーテル関連尿路感染症（CAUTI）の低減に用いられる水性洗浄組成物であって、前記尿道留置カテーテルの当該使用において、尿道カテーテルが哺乳動物の尿道内に挿入されることにより尿道挿入部位を規定し、当該部位が尿道留置カテーテルを有し、

更に前記カテーテルの抜去直後に前記会陰、尿道口および周辺粘膜を清拭するステップに使用される、請求項1に記載の水性洗浄組成物。

【請求項3】

尿道留置カテーテルの使用の結果発生するカテーテル関連尿路感染症（CAUTI）の低減に用いられる水性洗浄組成物であって、

前記尿道留置カテーテルの当該使用において、尿道カテーテルが哺乳動物の尿道内に挿入されることにより尿道挿入部位を規定し、当該部位が尿道留置カテーテルを有し、

前記カテーテルの抜去直後に前記会陰、尿道口および周辺粘膜を清拭するステップの後、更に5日間から1ヶ月間にわたり6～12時間ごとならびに失禁の発生後ごとに会陰、尿道口および周辺粘膜を清拭するステップに使用される、請求項2に記載の水性洗浄組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

本発明に有用であるスキンケア洗浄剤は、米国特許第6,358,516号明細書に記載されるような洗浄剤であって、その他の成分のうち特に、

- (a) 少なくとも1種の界面活性剤(surfactant)と、
- (b) 少なくとも1種の抗炎症剤(anti-inflammatory)と、
- (c) 少なくとも1種の消泡剤(anti-foaming agent)と、
- (d) 少なくとも1種の細胞増殖促進剤(cell growth-promoting agent)と、
- (e) 少なくとも1種の速効性の抗菌剤(fast-acting antimicrobial agent)であって、前記成分のそれぞれが皮膚適合性であり前記組成物の他の成分とは異なる抗菌剤を含み、
- (f) 少なくとも1種の免疫系強化剤(immune system-enhancing agent)がアロエベラ、グルカン、コロイド銀、またはアラントインである、複数の免疫系強化剤(immune system-enhancing agents)；
- (g) 少なくとも1種の吸収促進剤(absorption facilitation agents)が グルカン、アロエベラ、またはコロイド銀である、複数の吸収促進剤；
- (h) 少なくとも1種の湿潤剤(humectants)または軟化剤(emollients)が、アロエベラ、ビタミンE、またはコカミドプロピルである、複数の湿潤剤および軟化剤；
- (i) 少なくとも1種のフリーラジカル捕捉剤(free radical-scavenging agents)が、バイオフィラポノイド、ポリフェノール化合物、グレープフルーツ由来の四級化合物、 グルカン、アラントイン、ビタミンE、ピクノジェノール(pycnogenol)、またはブドウ種子エキスである、複数のフリーラジカル捕捉剤；ならびに
- (j) 皮膚に適用したとき素早く空気乾燥し、洗浄し、治療可能な状態とし(therapeutically conditions)、一段階の適用で皮膚を処置する、安定したすすぎのいらない(no-rinse)放射線殺菌の可能な組成物を形成するために選択される前記成分が選択され、少なくとも1種の治癒促進剤(healing-promoting agent)がアロエベラ、アラントインまたはグルカンであり、複数の治癒促進剤

の群から選択される少なくとも1種の異なる成分を含んでもよい。ある化合物が2つの異なるカテゴリ内で言及される場合、その化合物は製剤中で2つ両方の機能を果たし、その化合物が存在するとき各機能が存在することが理解されるべきである。